

## H20年10月末時点 古川市長マニフェスト項目進捗状況

政策	課 題	番号	具体策	担当課	現在の進捗状況等
1	「子育て」 子供たちの教育の充実を進めます。	1	中学校3年生から順に、30人程度の少人数学級を実施します。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度中学校第3学年で実施。5校でそれぞれ1学級増え、それにともない8人の非常勤講師を採用。</li> <li>平成20年7月に教員及び生徒に対しアンケートを実施。後期に再度教員等へのアンケート、保護者アンケート及び連合PTAとの意見交換を実施する予定。アンケート、意見交換等の結果により評価をとりまとめる。</li> </ul>
2	「働く」 新たな産業の誘致を積極的に進めます。	2	工業団地(約30ha)を郊外に計画し、4年間で造成に着手します。	企業誘致課	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭ヶ丘テクノパーク(約7ha)の開発について、岐阜県土地開発公社と協定を締結し事業に着手。今年度中に造成着工予定。</li> <li>笠原町の市有地を、上原テクノパーク(約4ha)として売却。</li> <li>多治見山吹テクノパーク(約30ha)の開発について、岐阜県土地開発公社と協定を締結し事業に着手。来年度末までに造成着工予定。</li> </ul>
		3	環境配慮型企業の誘致促進のため、優遇策を実施します。	企業誘致課	<ul style="list-style-type: none"> <li>優遇策を実施中</li> <li>近隣市町村と同等程度の優遇制度にするため、平成20年4月1日に企業立地促進条例を改正。</li> <li>今後も優遇制度をPRしながら、環境配慮型企業の誘致を行う。</li> </ul>
		4	県が保有する進出希望情報と、支援策を積極活用します。	企業誘致課	<ul style="list-style-type: none"> <li>進出希望情報を活用中</li> <li>岐阜県企業誘致課からの進出希望情報を活用し、企業誘致活動を進めている。</li> <li>今後も情報の提供を受け、誘致活動を進めていく。</li> </ul>
3	「活性化」 陶磁器・タイル産業活性化を積極的に取り組みます。	5	「美濃焼・タイル」のデザイン力を高めます。	産業観光課 意匠研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>上絵付に特化した美濃焼のブランド構築事業を実施中</li> <li>中小企業ものづくり総合支援事業費補助金の今年度交付決定(県補助/3年計画の2年目)。</li> <li>陶磁器デザイナーと連携した商品開発、市場調査等を引き続き実施。</li> </ul>
		6	高付加価値化・海外進出をめざす若い経営者のチャレンジを、積極的に支援します。	産業観光課 意匠研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手経営者勉強会を実施予定</li> <li>19年度から開始した勉強会を引き続き開催予定。美濃焼振興協会総会で勉強会開催に係る協力依頼を実施。下期からの開始に向けて内容について検討中。</li> </ul>

## H20年10月末時点 古川市長マニフェスト項目進捗状況

政策	課題	番号	具体策	担当課	現在の進捗状況等
4	「住む」 主要道路を整備して、渋滞を解消するよう取り組みます。	7	国道248号線の国長橋～音羽町の3車線化(県)。	建設総務課	岐阜県多治見土木事務所が平成20年1月～3月にかけて北進方向の渋滞対策の一環として、市民病院前交差点の改良を実施。今後も岐阜県と協力しながら渋滞緩和対策を検討していく。
		8	多治見インターからサンテラス前の4車線化(市)。	道路河川課	用地買収推進中(用地課) ・本線に接続する市道の改良工事(通学路整備)を実施済。 ・本線で一部隔切工事を実施済。
		9	国道19号線のバイパス化(国)。 (都市間連絡道路)	都市政策課	早期整備のため、今年度中を目処に「(仮)東濃5市東西幹線道路整備促進協議会」を立ち上げ、早期整備に向けて東濃5市が連携して活動強化することとした。
5	「にぎわい」 まちなかを元気に、人が集まる環境を作ります。	10	駅北土地区画整理事業の中心的建物は、古いも若きも集まれる、民間資本による複合施設を整備します。	区画整理課	19年度において、駅北地区拠点施設基本構想として、市民ニーズ把握のためのアンケート調査の実施。制約条件の整理などを行い、施設整備の手法について検討を実施。20年度中に、16街区の公共機能の確定を受け、3つの街区の整備に関する基本計画の策定。
		11	日帰り観光客の増加で、街中に賑わいと新たな税収確保をします。	産業観光課	愛知圏域を中心にした多治見市の観光PRを展開中 ・高速道路のサービスエリアで「うながっば」を使った観光PR。 ・車での来客向けに「ぶい～ぶいMap」を作成。 ・岐阜県観光連盟が主催する全国へ向けた観光PR(東京、横浜など)に参画。 ・多治見市内のイベントに「うながっば」を参加させ、多治見市民に愛着を持ってもらうとともに賑わいを創出。 ・「うながっば」グッズや「うながっば」メニューを新たに開発。 ・(株)華柳と協力して、やきものやまちの歴史がわかるパンフレットの作成を計画中。

## H20年10月末時点 古川市長マニフェスト項目進捗状況

政策	課 題	番号	具体策	担当課	現在の進捗状況等
6	「福祉・市民活動」 高齢化に伴う福祉・ 介護の人材確保の 促進	12	市民病院は、病院機能を関係機関と協議し、他の場所 で適地を選定します。 (新市民病院検討委員会の設置)	市民病院事 務局	・新市民病院建設候補地選定委員会において、建設候補地として西坂地区が選定され、市長に答申された。平成20年度内に建設地を決定する予定。 ・市民病院の経営形態が平成22年度から指定管理者制度へ移行することに決定。平成20年度中に指定管理者を決定する予定。
		13	シニア世代の社会貢献を積極的に支援し、人材を集 め、街ぐるみのボランティア組織作りをします。	市民文化課	団塊、シニア世代を対象に社会貢献を促すための支援を実施中 ・13小学校区を拠点とした校区まちづくり市民会議への参加や公民館を拠点とした地域デビューを促がす事業を展開。 ・NPOサロン、NPO講座、NPO相談などの開催や地域デビュー講座の実施。
		14	市民の事業提案を予算化し、実施をサポートする。	政策開発室 企画課	制度設計して実施済み ・まちづくり補助金制度を改正し、H20年度から市民によるまちづくりのためのハード整備事業についても実効的な補助が行えるようにした。 ・市民との協働事業について、地域振興基金の運用益を優先的に財源充当できるよう制度設計し、H20年度予算から反映した。

## H20年10月末時点 古川市長マニフェスト項目進捗状況

政策	課 題	番号	具体策	担当課	現在の進捗状況等
7	「経営・改革」 市役所のあり方を見直し、重要政策をすぐ実施します。県の裏金問題を教訓に監査機能を充実します。	15	政策総点検を1年間で実施し、継続・見直し・廃止に分類する。	企画課	政策総点検を実施(H19) ・総合計画、行革、その他の事務事業等の見直しを行い、「廃止」28事業、「縮小見直し」65事業を決定した。 ・「廃止」28事業のうち18事業についてはH19年度末に廃止し、「縮小見直し」65事業のうち44事業については予算の縮減を実施した。
		16	行政の改革を引き続き実行します。	企画課	第5次行革とH19年度に実施した政策総点検の進行管理及びH20年度政策総点検を実施 ・第5次行革の「質の転換」事業の進捗状況(H20年度上半期分)の確認を10月に実施。 ・H19年度実施の政策総点検で「廃止」等とされた事業のうち取組が継続中の事業について進行管理を実施中。 ・H20年度はH19年度と同様に約300事業を抽出し政策総点検を実施。廃止7事業、縮小7事業、見直し46事業を決定。 ・第6次行革大綱へ向け検討中。
		17	重要課題解決のため、役所の組織を見直します。	企画課	組織の見直しを実施 ・H20.4.1からの組織の見直しを実施。
		18	情報公開の充実 (わかりやすいことばと説明)	総務課 秘書広報課	公文書作成時のマニュアル(ことばの手引き)の訂正及び公用文例規程の見直し検討。 広報紙の文字の大きさも含めて、わかりやすい表現やデザイン変更等を検討中。
		19	監査機能の外部委託化の検討	監査委員 事務局	21年度からの個別外部監査契約に基づく監査の導入について準備を進める。
		20	月例監査の充実と抜き打ち監査の実施の検討	監査委員 事務局	19年度から収納状況報告担当課を従来の笠原振興課(旧地域振興課)・建築住宅課・子ども支援課に、保険年金課・税務課・諸納付金収納担当を追加し充実化を図っている。現状の例月出納検査は、単なる現金出納検査ではなく行政監査的な内容も含んだものとなっている。抜き打ち監査としては、19年度に釣銭保管状況調査と備品購入状況調査を実施。